



平成 18 年 11 月 15 日

各 位

本店所在地 大阪市中央区道修町 3 丁目 5 番 1 1 号  
会社名 株式会社 アクセス  
代表者の  
役職氏名 代表取締役社長 北 博 之  
(JASDAQ コード番号: 4700)  
問い合わせ先 スタッフホスピタリティ担当  
部長 前田 貴子  
電話番号 (06) 6208-1600

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、当社所有不動産の譲渡による特別利益を計上する見込みとなるとともに、最近の業績動向等を踏まえ、平成 18 年 5 月 19 日の決算発表時に公表いたしました平成 19 年 3 月期中間期・通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 記

#### 1. 平成 19 年 3 月期中間期・通期（連結・個別）業績予想の修正

##### (1) 中間期業績予想（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）

##### ① 連 結

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	1,000	△391	△388
今回修正予想 (B)	902	△574	△463
増減額 (B-A)	△98	△183	△75
増減率 (%)	△9.8	—	—
ご参考: 前期(中間期)実績	843	△211	△202

##### ② 個 別

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	1,000	△380	△378
今回修正予想 (B)	902	△576	△464
増減額 (B-A)	△98	△196	△86
増減率 (%)	△9.8	—	—
ご参考: 前期(中間期)実績	843	△209	△200

(2) 通期業績予想（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

① 連 結

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	2,800	61	63
今回修正予想 (B)	1,750	△1,920	7,400
増減額 (B-A)	△1,050	△1,981	7,337
増減率 (%)	△37.5	—	—
ご参考：前期(通期)実績	1,980	△2,257	△2,374

② 個 別

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	2,800	81	83
今回修正予想 (B)	1,750	△1,900	7,420
増減額 (B-A)	△1,050	△1,981	7,337
増減率 (%)	△37.5	—	—
ご参考：前期(通期)実績	1,975	△2,249	△2,385

(3) 修正の理由

① 中間期

当中間期における個別業績につきましては、一部の SI 案件において、売上高が期初の予定を下回ることとなりました。また、費用面においては派遣エンジニアの単価の上昇や一部の案件において当初予定より工数がかかったことなどから外注費が増加いたしました。これにより誠に遺憾ながら上記のとおり業績予想の修正をいたしました。

② 通 期

当社は、本日「不動産の譲渡に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、中長期的な企業価値の向上を図るため所有不動産の譲渡について決定いたしました。この不動産の譲渡により約 115 億円の特別利益が見込まれ、当期純利益が期初の予想を大幅に上回る見込みとなりました。なお、これにより繰越損失金 2,108 百万円が一扫されるだけでなく、有利子負債の返済を行うことにより、当期末の自己資本比率が約 90%（前期末 67.6%）にまで上昇する見込であり、今後の当社の財務体質は相当強固なものとなります。

通期の個別業績につきましては、売上高では SI 事業においてエンドユーザーのマイグレーションに対する投資意欲が本格的に伸びて来ていないため、当期の売上高につながる新規案件の獲得が期初の予想を大幅に下回る見込みとなりました。また、費用面においては、上半期に引き続き外注費の増加が見込まれ通期においても経常損失となると判断せざるを得ない状況となりました。なお、この外注費の増加については、当期のみ発生する予定のものであり、来期以降の損益に対して影響を与えるものではありません。

なお、中間期及び通期の個別業績予想数値の修正に従い、連結業績予想についても修正いたしました。

(4) 今後の取り組みについて

今後は事業戦略の再構築や内部管理体制の強化を進めるとともに、不動産の譲渡で得た資金を活用することで財務体質の強化を図り安定的な経営体質への変革を推し進め、常に株主価値を向上させることができる企業を目指して参ります。

誠に遺憾ながら当期においても経常損失を計上する見込みとなりましたが、今後行う SI ビジネスにおける新規案件の受注については、リスク管理を強化し案件の選択を行います。また、案件受注後も徹底したプロジェクト管理を継続し、確実に利益の計上を見込める案件にだけ集中してまいります。

以 上

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により、上記予想数値とは異なる可能性があります。